

事務事業評価シート（評価実施年度：平成27年度）

上位の施策名称	施策Ⅱ-5-4 都市・農山漁村空間の保全・整備
---------	-------------------------

1. 事務事業の目的・概要

事務事業担当課長	都市計画課長 石田 弘至	電話番号	0852-22-5209
----------	--------------	------	--------------

事務事業の名称	開発許可制度の運用		
目的	(1) 対象	都市の住民	
	(2) 意図	周辺の土地利用と調和の図れた良好な市街地を形成する。	
事業概要	周辺の土地利用と調和の図れた良好な市街地を形成するため、都市計画区域内での開発行為に対して、基準に適合する良好な開発行為を誘導する。また、市街化調整区域内での開発許可申請に対して、開発審査会を開催して専門的立場から申請内容を審査する。		

2. 成果参考指標

(1) 成果参考指標	指標名	式・定義	年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	単位
			開発許可面積	目標値			20.00	20.00	20.00
		年間開発許可面積	実績値	16.10	19.10	46.10	158.90		
			達成率		95.50	230.50	794.50		%
指標名	式・定義	年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	単位	
		目標値		0.00	0.00				
		実績値	0.00	0.00	0.00				
		達成率		0.00	0.00			%	

3. 事業費

	26年度実績	27年度計画
事業費(b) (千円)	0	231
うち一般財源(千円)	0	231

4. 改善策の実施状況

前年度の課題を踏まえた改善策の実施状況	①順調に進んでおり課題がないため検討していない
---------------------	-------------------------

5. 評価時点での現状（客観的事実・データなどに基づいた現状）

出雲市で新規開発許可が11件、131.33haあり、目標を大きく上回った。

6. 成果があったこと（改善されたこと）

重大な違反を行っている事業は無く、適切に法に基づく許可や指導ができています。

7. まだ残っている課題（現状の何をどのように変更する必要があるのか）

- ①困っている「状況」
県で許可を行う地域の内、安来市について、県で定める開発許可基準に沿わないケースが増加傾向にある。
- ②困っている状況が発生している「原因」
安来市には市街化調整区域があり、他の地域に比べ、法的許可基準が厳しいため。
- ③原因を解消するための「課題」
安来市に地域の事情を考慮し緩和対策を講じることが出来る「事務処理市」として権限委譲を行う。

8. 今後の方向性（課題にどのような方向性で取り組むのかの考え方）

- ・安来市に対しては権限委譲を含めた対応の検討を即す。
- ・開発許可制度の適切な運用のため、担当者が理解しやすいようマニュアルや手引きの見直し、担当者会議等を開催する。

◎課(室)内で事務事業評価の議論を行うにあたっては、本評価シートのほか、必要に応じて、「予算執行の実績並びに主要施策の成果」や既存の事業説明資料などを活用し、効率的・効果的に行ってください。

◎上記「5. 評価時点での現状」、「6. 成果があったこと」、「7. まだ残っている課題」、及び「8. 今後の方向性」について、議論がしやすいように、「5. 評価時点での現状→6. 成果があったこと」、又は「5. 評価時点での現状→7. まだ残っている課題→8. 今後の方向性」が一連の流れとなるよう、わかりやすく、ストーリー性のあるシート作成に努めてください。

9. 追加評価（任意記載）